

# 2007年度 第2回 高2トップレベル記述模試

## 国語 採点基準

東進コメンツ本部 教務部 国語科

《採点者の皆様へ》

- 1 厳しく採点をお願いしますが、受験生の意図を汲み取ることにご留意して下さい。
- 2 採点の際は、必ず各問題の全文を掌握しておいて下さい。

《全問題共通のルール》

表記に関して

解答欄からはみ出た答案 0点

文章が途中で終わり、最後まで書かれていないもの 0点

誤字 1箇所につき1点減点

ただし、同じ漢字は、同じ大問で1度のみ減点とする。

脱字 1箇所につき1点減点

「行つ」「行なつ」など二通りの送り仮名は認める 減点なし

「見れる」など、「らぬき言葉」と「笑つてる」など、「いぬき言葉」は脱字扱い

は誤りの箇所にチェックを入れること。

記述問題における文末の「。」

字数制限がない場合 減点なし

字数制限がある場合

(1) 「。」が文末にない時 1点減点 (「句点なし」と明記)

(2) 最後のマスに「。」と文字が同居している時 0点 (「字数超過」と明記)

字数制限のある問題での字数超過 0点 (「字数超過」と明記)

四十一字以上の字数制限問題における字数不足。

50%未満の解答 0点 (50%以上の解答が採点対象)

四十字以下の字数制限問題における字数不足 減点せず。

主語・述語の不備。文末不備など表現未熟 1点減点 (「表現未熟」「文末不適」と明記)。

### 〈得点記入〉

それぞれの得点を記入。  
減点がある場合は、得点欄の上にその旨を記入。

### 〈記述答案の採点法〉

得点の対象となる部分に傍線を引く。

配点要素を満たしている場合

をつけ得点を記入。

配点はあるが、不完全な場合

をつけ得点を記入。

減点は欄外に記入。

間違いで0点の部分には、スラッシュなど必ず何らかの採点した印を付して下さい。未記入のまま残すことがないように配慮下さい。

(例)

(2点)

(2点)

(正解) 男は、かわいらしいと感じた女性を、不憫に感じた。

(4点)

2

(例1) 男は、かわいらしいと感じた女性を、気にかけた。

(2点)

(例2)

かわいらしいと感じた女性を 不憫に感じた。

(1点)

1

2

〔表現未熟〕 (主語が抜けている)

(例3)

男は、かわいらしいと感じ、不憫に思った。

(3点)

2

2 x (誤字1)

(例4)

男は、かわいらしいと感じた女性を、不憫に感じた。

(3点)

(例5)

女は不愉快に感じ、男を意図的に無視した。x または斜線を付す。

□(現代文) 採点基準(合計=40点)

問一 各1点 (解答通り)

ア 特異    イ 確執    ウ 衰弱    エ 駆動    オ 面倒

問二 4点 (解答通り) 激しく動揺する

・「強風に煽られる」は比喩表現なので不可。

問三 4点

(模範解答例)

家族の行動が あらたな配置へと移行する(過程)

字数不問。

文末は「過程」につながる形はマイナス2点とする。

必須条件(これができる3点)

・「別の(新しい)所へ移動する」という骨組みが出来ていること。

・だから「別の状況へと変化する」なども可。「配置場所を変える」なども許容。

(追)「破綻」「パンク」「おかしくなる」などは一具体例にすぎないから×。

で得点があったもののみこの先の採点に進む。

できて1点。

・「家族の行動」という意味内容のみ加点する。

・「介護」としたものは0点。

問四 ( ) ( 4点

( 模範解答例 )

自然的な過程であり、死への待機の時期。

字数不問。

文末表現は名詞止めになっていれば可。なっていない場合はマイナス1点で「文末不適」と明記。

必須条件。( 2点 )

・「死」への言及がないものは×。

・「待機」「待つ」などがない場合はマイナス1点。「死ぬ時期」「など」

で得点があったもののみこの先の採点に進む。

2点。

・「自然」に類する言葉があれば可。( 追 ) 「普通」「通常」「だれにも」「など」

( ) ( ) 4点 (解答通り)

(模範解答例)

1

世話をする側からしても

介護は普通の人に普通に訪れるもので

2

取り組むべき課題」なのだとする考え。

二十五字以下0点。

文末表現は「考え」が望ましいが名詞止めとなっていれば可。そうでない場合はマイナス1点とし、「文末不適」と明記すること。

必須条件。(2点)

「介護はごく自然に訪れる」という内容であることが必須条件。

・「当然」「普通」「平常」「自然」「当たり前」など可。

で得点があったもののみこの先の採点に進む。

(訂正) 1 2 1+1点。

1 (1点)

「世話をする側が…取り組むべき課題」という骨組みになっていること。

・「介護側」「家族」も可。それに類する語がない場合は0点。

2 (1点)

・(追)「取り組むべき課題」に類する語があること。ない場合は0点。

問五 4点 ウ 解答通り。

問六 5点

(模範解答例)

A

成長するものや新たに生まれるものを是とす、

B

「老い」など衰えるものを非とする観念。

字数不問。

文末は「観念」が望ましいが、名詞止めとなっていれば可。そうでない場合はマイナス1点とし、「文末不適」と明示すること。

(訂正)

A 3点 B 2点とする。

Aの要素(3点)部分点は与えない。

「成長する」「新しいもの」を「是」とするといふ骨組みになっていること。

・成長する「か」「新たに生まれる」「新しい生命」などはどちらか一方があれば可とする。

・「是」「肯定」(追)「重要視」などが不可欠。

・(追)「生産」「成長」の組み合わせも可。

Bの要素(2点)部分点は与えない。

「衰えるものを非とする」といふ骨組みができていないこと。

・衰える「老い」のどちらかの要素があれば可。同様の表現も可。「衰弱」など

・非「否定」などが不可欠。

(追)その他のバージョン

「成長するものやあらたに生まれるもののために」「老い」にふたをする」という内容は是非が明確なので、とする。同様の回答があったら、是非が明確となっているかどうかで判断する。

問七 10点

(模範解答例)

以前は

A

農林水産業や自営業などが多く

B

一生仕事があったのだが

現在は

C

平均寿命が延びたうえに

D

多数が勤務という引退のある就労をとりこぼし

その人たちが定年をむかえてどう過ごすかというモデルのないまま長い年金生活に入ったこと。

六十字以下は0点。

文末表現は名詞止めとなっていること。そうでない場合はマイナス1点とし「文末不適」と明示すること。

「以前は…、現在は…」という対比説明になっていないものは4点マイナスとする。

必須条件(3点)

「定年」をむかえて「長い年金生活に入った」という骨組みになっていること。(2点を与える)

・「長い」という要素がないものはマイナス1点とする。

・モデルがない」「考えないまま」「計画せずに」などがあればさらに1点を加点する。

で得点があったもののみこの先の採点に進む。

Dの要素(2点)

・「引退のある就労(仕事)をしている」という要素ができて2点を与える。

Cの要素(2点)

「寿命が延びた」「長生きになった」という要素で2点を与える。

Bの要素(2点)

「一生仕事があった」「引退がなかった」などの要素で2点を与える。

Aの要素(1点)

「農林水産業」「自営業」のどちらかでも可。



E また つきあいにくくも あまひじやう。  
 つきあいにくく人も

Aの要素。

「つきあいにくく」「あまひじやう」の意味の訳出で2点与える。

Bの要素

推量用法の訳「だろつ」があつて1点加点。丁寧語が本当はベストなのは先程と同様。

問四 2点 上東門院 解答通り

問五 3点

(模範解答例) 漢字を 全く 書かない様子。

字数不問。

文末は「様子」が望ましいが、名詞止めになっていれば可。それ以外はマイナス1点で「文末未熟」と明記。

必須条件。(2点)

「漢字を書かない」という骨組みであること。

・文字「」はマイナス1点。

で得点があつたもののみこの先の採点に進む。

1点。

・「全く」「でさえ」など否定語を強調していれば1点を与える。

問六 2点

(模範解答例) 紫式部が親しくしていた 同儕(の女房)

必須条件。1点

「同輩」「同じ女房」なども可。

で得点があったもののみこの先の採点に進む。

・「紫式部が」「親しくしていた」で1点。

・作者が「は×で0点。

・仲がよい」「交際相手の」「は可。

・接していた「は抽象的で0点。

問七 2点 紫式部 解答通り

問八 各1点 解答通り

a 物語やある

c めでたく思ひながら

d なつかしく仕入けるほどのことも

e いみじくありし (別解) いみじかりし

問九 完答2点 解答通り

上東門院 大齋院

問十 2点 解答通り

あるめる

(追)「あるめる」「も正解とする。(問題が不備なため)

三 漢文 20点

問一 2点 5 解答通り

問二 2点 4 解答通り

問三

( ) 3点

(模範解答例)

A B C

人をどのような方法で採用すべきか。

A B C各1点とする。

Aは目的語になっていること。

Bは「どこ」や「いつ」など手段・方法を問う訳になっていること。

Cは「採用」「登用」などの意味になっていること。「べき」は意味が通ればどんな訳でも可。

文末は疑問になっていること。

( ) 2点 4 解答通り

( ) ( ) 6点

(模範解答例)

A

誠実な性格の者を登用するという

B

そのうえでその者の発言や行動を比較して

C

能力があることを判断して 登用する方法

三十字以下は0点。

文末は「方法」が望ましいが、名詞止めになっていれば可。なっていない場合はマイナス1点で、「文末不適」と記すこと。

A B Cの要素各2点。

Aの要素。(1点+1点)

「誠実な者を登用する」という骨組みになっていて、「」にまでで1点を与える)

(追)「忠義心が厚い」はOK。

(追)「忠信重厚」とそのまま用いたものは、「」者・人」となっていれば可とする。そうでなく、人間とわからないものは×。

「第一」のように入ることが最優先とわかるようになっていて、「」これでは1点

Bの要素。(2点)

「発言や行動を比較して」の内容があること。「発言」「行動」は片方で可。「言動」も可。

・「比較」は「吟味」「精査」など調べる・比較する要素であればよい。

Cの要素。(2点)

「能力の判断をする」という内容になっていること。

・「能力の確認」「職務遂行能力があるか」「仕事がこなせるか」なども可。

・(追)「知能のある者」は具体性がないので×とする。

問四 3点

もってほしいとなすかほしいなり。

必須条件。(3点)

それ以外は 得た3点から減点する。1箇所の誤りは2点マイナスとする。2箇所間違いで0点。

問五 2点 2 解答通り

四 国語全般 10点 (各2点) すべて解答通り

- 1 議定書
- 2 参議院
- 3 探査
- 4 緊張
- 5 癒